一般社団法人日本病理学会　令和２年度事業報告

（令和２年４月１日～令和３年３月 31 日）

事業の概要

Ⅰ.学術集会、研究会等の開催

１．学術集会の開催

（１）第 109 回日本病理学会総会（WEB 開催・小田義直会長）

（２）第 66 回日本病理学会秋期特別総会（於浜松/WEB 配信・椙村春彦会長）

２．研究会、講習会等の開催

（１）第 17 回日本病理学会カンファレンス：延期

（２）細胞診講習会・病理診断講習会・分子病理診断講習会・剖検講習会・分子病理専門医講習会

（３）ゲノム病理標準化講習会

（４）第 14 回診断病理サマーフェスト

（５）各支部における学術・研究集会、等

３．シンポジウム等の開催

Ⅱ.学会誌、学術図書等の発行

１.「日本病理学会会誌」の発行（第 109 巻第１～２号）

２.「Pathology International」の発行（Vol.70　４～12、Vol.71　１～３）

３.「診断病理」の発行（第 37 巻第２～４号、第 38 巻第１号）

４.「日本病理学会会報」の発行（第 384～395 号）

５.「お知らせ」（第 38 号～39 号）の発行

６.「病理専門医部会報」の発行（令和２年第 2～4 号、令和３年第１号）

Ⅲ.研究および調査並びに知識の普及

１.「日本病理剖検輯報」の発行　第 61 輯（平成 30 年症例）

２．剖検輯報編集方法の充実

３．剖検記録データベースの更新

４．病理学卒前教育の充実

５．インターネットホームページの充実

６．政府等委託・助成事業の実施

（１）国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）委託研究事業
「病理診断支援のための人工知能（病理診断支援 AI）開発と統合的『AI 医療画像知』の創出」
（２）令和２年度厚生労働省補助金事業「希少がん診断のための病理医育成事業」

Ⅳ. 研究の奨励および研究業績の表彰

１．日本病理学賞（宿題報告）の授与
２．病理診断学賞（病理診断特別講演）の授与
３．学術研究賞（A 演説）の授与
４．症例研究賞（B 演説）の授与
５．学術奨励賞の授与
６．100 周年記念病理学研究新人賞の授与

Ⅴ. 病理診断関連活動及び病理専門医等の資格認定

１．病理専門医・口腔病理専門医の認定・試験の実施及び資格の更新
２．病理専門医の広報
３．病理専門医研修施設の認定および資格の更新
４．病理専門研修プログラムの運用指導
５．分子病理専門医の認定・試験の実施
６．病理解剖研修の充実
７．生涯教育の充実
８．病理診断コンサルテーションシステムの充実
９．病理精度管理体制の充実
１０．各種ガイドライン等の作成
１１．医療における病理診断・病理解剖の推進

Ⅵ. 学術団体との協力、連絡

１．学術団体等との会議共催および後援（国内）の実施
２．腫瘍取扱い規約等の改訂
３．海外病理学会との交流

Ⅶ. その他目的を達成するために必要な事業

１．会員システムの充実
２．医師賠償責任保険加入取扱いの実施